

『野宿生活者問題と釜ヶ崎』（後編）

3部にわたって特に印象に残った2名の感想文を掲載しました。

- 最初は正直、ホームレス生活をしている人たちに変な偏見を持っていたりしたけど、この前のDVDを見て、ホームレス生活者の内面とかを知ることができました。「ホームレス襲撃」という事件とかが最近、よく起こっているようですが、自分にも全く関係ないわけではありません。これからの生活を送るときでも、この短い3時間の人権学習はとても役に立つと思います。だから絶対に忘れないようにしたいです。
- 【当初に比べての気持ちの変化について】今までは怖いと思ってたけど、話聞いてたら優しいねんなって思った。きたないとかじゃなくて、いろいろ事情があるんやなって。苦労してるやろうし。好きであんななったんちゃうねんなって。
- 【全体的な感想】まず、大変やなって思った。それにくらべたら、普通に自分たちは幸せやなって。鈴木さんの話聞いてたら泣いてもうたし、なんかちゃんと寝られへんし、毎日何されるか怖いって言って、ほんまかわいそう。でも、鈴木さんは恨んだりしやんし、根はいい子やと思うって言うてたし。エアガンでやられて、傷も負って痛かったやろうし、恨んで当たり前のことなのに、ほんま心広いなって思ったし、鈴木さんはがちでいい人やわ。泣ける。毎日毎日遊んでる自分たちと違って、歩き回ってカン集めて、1日中歩いて、足痛いのに食べていかなあかんから、頑張ってる、お金の大事さもわからせてくれた。手助けしたいな。
- 【野宿生活者に対して自分でもこんなことができるという項目について】カンとか家で集めてあげに行く。ホームレスの人に何かやってる子おったらやめたって言うし、とめる。今までは怖かったけど、もう怖くないし、キャーって叫ぶのもやめるし、しゃべりかけたりしよっかな。

